

練馬労連ニュース

練馬区労働組合総連合
2026年1月26日 No.262

住所：練馬区中村北 1-6-2 東京土建練馬支部会館 4階 TEL.03-3825-7146 FAX.03-3825-7117

✉ nerima-roren@celery.ocn.ne.jp <部内資料>

新年おめでとうございます！

～練馬労連に結集し、未組織労働者の組織化で飛躍の年に～

新年のごあいさつ

練馬労連議長 岸田 幸雄



私たち労働者の生活と未来を守る年に

2026年は「私には国際法など必要ない。判断するのは私自身だ。」とトランプ大統領のベネズエラの大統領を拉致するという、前代未聞の蛮行で幕が明けました。

昨年は戦後80年ということで、あの無謀な戦争になぜ踏み切ってしまったか、という歴史を振り返る年として始まりましたが、首相の「台湾有事発言」をきっかけに一転戦争への道に踏み切ったかのようです。そこにきてトランプ大統領の蛮行で、世界の今後が見通せなくなってきます。

通常国会冒頭解散・衆議院議員選挙があり、さらに今年は練馬区長選挙もあります。練馬労連は前回に引き続き立候補する吉田健一さんを推薦し、住民の意思を無視してきた前川区政からの転換を目指します。

私たち労働者の生活と平和な未来を守る年にして行きましょう。

26年春闘での奮闘誓う！…練馬労連「新春のつどい 2026」

1月16日、土建練馬支部会館で高市自・維政権による悪政に抗し、『改憲を許さず、働くルールを確立し、労働者の尊厳を守る地域の砦として力強い組合組織へ大きく前進を!!』めざして、練馬労連「2026年新春のつどい」を開催しました。

恒例「だいこん」被り物でお出迎え

労連役員は恒例となった「練馬大根」の被り物を頭に参加者をお迎えし、和やかな雰囲気の中で始まったつどいには、労連加盟単組の参加者をはじめ、来賓の東京地評・練馬区労協・練馬全労協をはじめ地域の友好団体（城北法律事務所・治



安維持法国陪同盟・東京芸術座・練馬文化の会・公的保育を守る練馬連絡会・日本共産党・国民救援会・ねりま九条の会・ノーモアミナマタ東

京連絡会・東京ミナマタ原告) など 30 名が参加しました。

岸田議長の開会あいさつに続き、東京地評の中村事務局次長(東京春闘共闘事務局長)、練馬区労協・練馬全労協の代表からも祝辞をいただき、ともに 26 春闘をガンバローと激励を受けました。

乾杯後、ご参加いただいた友好団体・加盟単組すべてからご発言をいただき、労働組合の団結と春闘での奮闘はもとより、練馬地域運動でのさまざまな運動での共闘の大切さが語られました。

つどいでは、教員である議長の勤務する中学校を訪ねて取材した土建機関紙の記事をもとに、今津新事務局長を司会に岸田議長と三角副議長の対談を実施。教育現場の管理制度が強化され、自分のめざす教育実践に取り組むことが難しく若い教員の離職が増える中、「学校現場でのパワハラ」への対応やみずからの「組合加入促進の取り組み」「平和教育の実践」の紹介され、今、

あらためて「労働組合とは何か」を考える機会となりました。

平和への願い、地域の願い-心ひとつに

余興では、三角真弓さんが茂木龍彦さんのギターを伴奏に、「ちいさなひとつぶ」「一本の鉛筆」「ヒロシマの有る国で」など平和を願う歌の数々を披露。最後は参加者全員で「折り鶴」を合唱し、つどいの閉会を迎えました。



核兵器のない世界の実現へ-今こそ「核廃絶」「非核三原則遵守」の声をあげよう! 「核兵器禁止条約発効 5 周年宣伝行動」に 130 人超の参加者

1月17日、2021年1月の国連・核兵器禁止条約発効から5周年を迎え、石神井公園駅で市民トーク&歌声による大宣伝行動が実施され、区内の労働組合、被爆者練馬の会をはじめ平和団体・医療団体・女性団体など多くの市民団体・グループや個人、政党・議員など130人を超える方々が参加しました。トークの合間に繰り広げ

られる歌声は、駅のロータリーを行き交う多くの通行人の注目となり、会独自に作成したリーフ入りファイル配布(250部)や署名(核兵器禁止条約への参加を求める署名・非核三原則を守り・実行を求める署名149筆)で、「日本政府も核兵器禁止条約に参加を」「核も戦争もない世界へ」を多くの区民にアピールしました。





禁止条約批准国の国旗や広島の高校生が描いた『原爆の絵』など掲示されたなど20数枚のパネルの前で、「核兵器禁止条約の批准を求めるねりまの会」を代表してアニメーション監督の有原誠治さんが主催者あいさつ。「被爆者練馬の会」の綿平さん、区内の被爆者、高校生平和ゼミナールの若者、東京芸術座の方々など6人がそれぞれの立場から核兵器をなくしたい思いを語りました。核兵器禁止条約批准国は74か国・署名国95か国、日本政府に条約への

参加を求める意見書決議は744自治体と全体の40%を超えています。

政府高官が「日本も核保有を」と発言し高市総理が「非核三原則の見直しを示唆する危険な動きが進められる今だからこそ、唯一の戦争被爆国である日本政府の国連・締約会議へのオブザーバー参加、そして核兵器禁止条約へ批准を求めて私たちは草の根の運動で声を上げていきましょう。



第22回自治体キャラバン

「公契約条例」制定実現に向け、練馬区長選の争点に押し上げよう！



自治体キャラバンは、事前に送付したアンケートと要請書への回答をもとに、各自治体と労働組合が一斉に懇談を行い、各地域において賃金をはじめとする労働環境や市民生活の改善について自治体の公的責任の役割発揮を求めるものです。

練馬区では1月23日練馬区庁舎防災センター会議室で実施され、練馬労連・練馬区労協加盟の組合員7人と東京春闘共闘、自治労連、全印総連の役員4人の11人と区側5課長（広

聴広報課長・職員課長・情報政策課長・経済課長・経理用地課長）と職員の7人の計18人参加で実施されました。

今回も公契約条例制定を求める要請が中心になりましたが、練馬区は「区の事業を受注しているかにかかわらず、民間企業に雇用される従業員の賃金や労働時間等の労働条件に関する事項は、地方自治体の条例ではなく法律によって定めるべきものであり、その実効性についても、国の労働保護政策によって担保されるべきであると考えております。したがって、区は公契約条例を制定して民間事業者における労働条件に関与したり介入することは考えておりません。」と従来どりの文書で回答し、懇談への対応に変化はあるものの、「制定自治体でその実効性が確保されていない」と国・都まかせにする態度は変えませんでした。

条例はすでに23区中15区で制定され、3区が検討段階に入っています。委託業務の労働報酬下限額も今年4月から世田谷区で1,600円超、新宿区も1,500円後半となる予定など、東京都の最低賃金（1,226円）と比較しても大幅な賃金改定が実施されます。

今年4月12日には練馬区長選が実施されます。公契約条例を区長選の大きな争点にし、条例の制定、働くものの労働条件・労働環境の改善、区民の声に耳を傾ける区長を誕生させましょう。

26 練馬春闘共闘会議発足 大幅賃上げを求める声、さらに大きく！

1月23日、2025年練馬春闘共闘会議発足総会が練馬区役所 19階会議室で開催され、35人の仲間が参加しました。



練馬春闘共闘代表委員の松永練馬区労協議長は冒頭のあいさつで「突然の総選挙でマスコミはうんざりするほど政局・選挙報道一色に染まっているが、私たちはこの春闘で労働者の大幅賃上げ・生活改善を求める声を大きくあげて行こう」と呼びかけました。東京地評の井澤事務局長の情勢報告を兼ねたあいさつに続き、今津練馬春闘共闘事務局次長（練馬労連事務局長）が25春闘運動の総括と26春闘運動方針案を提案。6つの組合からそれぞれ単組報告の発言をいただき、物価高騰に負けない大幅な賃金引上げを各組合が求めていこうと確認しました。いよいよ春闘本番です。今年も開催する「春闘学習会」を力に、各単組の創意工夫のある取り組みで、多くの組合員が参加し声をあげる春闘を展開しましょう！



(1)26春闘学習会に参加しよう！ どなたでも参加できます。多くの参加を（参加費無料）

○第1回 **2月17日(木)**18:30～ 練馬区立勤労福祉会館

テーマ「労基法改悪への危険な動き」

講師：平松 真二郎弁護士（城北法律事務所）

○第2回 **2月12日(木)**18:30～ 練馬区立勤労福祉会館

テーマ「『新自由主義と軍事大国化』とのたたかい」

講師：江口 健志さん（東京労働者学習協会常務理事）



(2)ケア労働者の処遇改善アクション2026 2月26日(木) 18:00～石神井公園駅

(3)地震の国に原発ねりまてもデモ 3月7日(土) 10:40～平成つつじ公園集合

(4)北部春闘共闘・北部共同行動 3月12日(木) 18:30～東池袋中央公園

(5)3・13 重税反対ねりま区民集会 3月13日(金) 9:45～勤労福祉会館・土建練馬支部会館

(6)第27回世直しだいこん行進 4月19日(日) 午前中（予定）

(7)第97回中央メーデー 5月1日(金) 午後・代々木公園

組合員の皆様、
今年もよろしくお願ひします。

会計監査……日向寺 淳一

常任幹事……荒井 美緒

常任幹事……保戸塚 太地

常任幹事……渡辺 智生

常任幹事……勝岡 稔夫

常任幹事……栗原 新蔵

会計……仲川 啓介

事務局次長……桑原 研二

事務局次長……奈良 憲成

事務局次長……今津 佑介

副議長……三角 真弓

副議長……河村 欣二

副議長……高畠 素昭

議長……岸田 幸雄

2026年度役員

練馬労連